

2019年2月18日

岡山市長 大森 雅夫 様

保育園落ちた2・4緊急アクション
岡山市内の保護者有志

「保育園落ちた」問題の解決をめざす申し入れ書

市長を先頭に市職員の皆様方が、市民生活の向上と市政の発展に日夜尽力されていることに、敬意を表します。

岡山市の保育未入園問題は、極めて深刻な状態が続いていて、今年4月の入園申込みも1800人以上が「保育園落ちた」状態です。

2月4日に市庁舎周辺で二次申請に来られた保護者の方々から集められた「声」は本当に深刻なものです。

「4月に仕事復帰なのに、どうしたらよいのか」

「既に今フルタイムで働いて、祖母宅に隣の市まで預けにっていて限界」

「両親フルタイムで働いているのに入れないなら、どうすれば良いのか？」

「保育園激戦地から引っ越してきた。岡山は地方都市なのに、なぜこんなに入れないの？」

「無償化より待機児童解消?」「お母さんなんかなるんじゃない、なんで結婚したんだろう」

「東京から越してきて、まだ岡山市の方が保育園に入りやすいと思ってたのに。晴れの国でなく雨ざーざーだ！」

この声を受け止めていただき、子どもと保護者の「安心して預けられる場所を」という願いの実現を、ぜひとも市長の強力なリーダーシップのもとで進めていただきたく、下記の項目について要望いたします。

記

1. こども園より公費負担も少なく、待機児童受入効果もより大きい認可保育園の整備を拡充してください。
2. あわせて、「公立保育園の廃止・民営化計画」は、少なくとも未入園児数が多い間は凍結してください。
3. 市立保育園の保育士採用数を拡充してください。
4. 保育士職に就く人を増やし、定着率も上げるために、処遇の更なる改善を支援すると共に、休暇取得率の向上や事務時間の保障など、働きやすさの改善も支援してください。
5. 市立幼稚園空き教室を活用して、認可保育園の分園を整備してください。
6. 私立園への障害児保育加算を抜本拡充してください。
7. 認可園等に「落ちた」児童が認可外保育施設を利用する場合の助成を当面の対応策として講じてください。
8. 岡山市における最新の保育ニーズを詳しくつかみ、「無償化」も踏まえて需要予測を見直してください。また、その調査結果に基づく施設整備計画を策定してください。

以上